



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所 東
コード番号 7351 URL <https://goodpatch.com/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）土屋 尚史
問合せ先責任者（役職名）取締役CFO（氏名）槇島 俊幸（TEL）03(6416)9238
半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	2,468	19.6	329	334.8	340	333.9	231	442.4
2024年8月期中間期	2,065	13.6	75	△36.1	78	△36.5	42	△56.4

（注）包括利益 2025年8月期中間期 231百万円（413.6%） 2024年8月期中間期 45百万円（△53.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	26.19	26.08
2024年8月期中間期	4.68	4.63

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	4,823	3,977	81.6
2024年8月期	4,676	3,872	82.3

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 3,935百万円 2024年8月期 3,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,946	25.4	419	—	422	803.6	273	30.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社ピープルアンドデザイン、除外 1 社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年 8 月期中間期	9, 220, 220株	2024年 8 月期	9, 218, 180株
② 期末自己株式数	2025年 8 月期中間期	512, 755株	2024年 8 月期	174, 205株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年 8 月期中間期	8, 852, 185株	2024年 8 月期中間期	9, 140, 836株

※ 第 2 四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の P. 6「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 中間連結貸借対照表	7
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	9
中間連結損益計算書	9
中間連結包括利益計算書	10
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍の収束に伴い経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しが見られたものの、金融引締めによる需要抑制など世界的な景気後退懸念が高まっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、各企業は様々な対策を講じることや先行投資等を行い、より一層の企業価値向上を目指していくとみられております。また、コロナ禍を契機とするデジタルシフトの機運も依然として衰える気配はなく、企業内の課題や社会課題の解決に向けたテーマとしてデジタルトランスフォーメーション(DX)(注1)やAI(人工知能)の活用への投資は加速しており、企業のDX実現に向けて、課題解決力やビジネスデザイン、企画に優れたパートナーに対する需要が高まっています。当社グループは「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」というビジョンのもと、「デザインの力を証明する」というミッションを掲げて、「デザイン」を通じて人々の生活がより便利になり、より暮らしやすくなることを目指し事業活動を推進してまいりました。

主要事業であるデザインパートナー事業においては、当社の強みである戦略デザインやUI/UXデザイン(注2)と、連結子会社である株式会社スタジオディテイルズの強みである質の高いクリエイティブとブランディングを融合し、顧客企業のさらなる期待に応えられるよう、デザイン支援の提供を行ってまいりました。また、自社サービスである「ReDesigner」や「Strap」などのプロダクトで構成されるデザインプラットフォーム事業においては、デザインパートナー事業で培ったノウハウやブランドを有効活用することに注力しながら推進してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は2,468,955千円(前年同期比19.6%増)、営業利益は329,906千円(前年同期比334.8%増)、経常利益は340,355千円(前年同期比333.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は231,873千円(前年同期比442.4%増)となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、顧客企業と当社のデザイナーが一体となりプロジェクト形式で包括的なデザインサービスを提供しております。最初に、サービスやブランド等の新たな価値を創出したい顧客企業とともにプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトで解決する課題を抽出します。プロジェクトが開始されると、本質的な価値の発見が行われ、顧客企業の独自の強みや特徴が明らかにされます。このフェーズでは、プロジェクトチームが顧客企業と緊密に連携し、価値の源泉を特定し、その価値を洗練するための手段・プロセスの検討が行われます。次に、顧客企業の利用者（ユーザー）を特定し、ユーザーにとって利用しやすいものとなるよう、ユーザーの価値観に合致するデザインが開発されます。このフェーズでは、プロジェクトチームはデザインの詳細な要件を抽出し、ユーザーフィードバックを絶えず取り入れて調整を行います。こうして生み出されたデザインは顧客企業の戦略とブランディング活動に統合され、企業のビジョンと目標に紐づく事業活動に一貫性をもたらしめます。なお、アプリケーションのUI/UXデザイン開発においては、当社のエンジニアリングチームもプロジェクトに参画し、実際のデジタルプロダクトの構築を行うことがあります。これら一連のプロセスを通じて、顧客企業は既存のビジネスプロセスをデジタル化し、イノベーションを促進でき、効率性の向上や新しい価値の提供が可能となります。

近年DXが注目を集め、企業がデジタル領域において変革を求められる状況の中で、デザインの持つ役割の重要性は益々高まっております。そのような状況の中、デザインパートナー事業では、数多くのデジタルデザイン支援の知見を集約し、経験豊富なデザイナーを集め、育成することで、より多くの企業に対して、高品質なデザイン支援を行うことが可能になります。そのため、デザインパートナー事業はデザイナーの採用活動を積極的に行い、提供リソースであるデザイナー人員を拡大するとともに、より幅広い業種業態の顧客企業に対してデザイン支援を実施してまいりました。また、日本国内の正社員デザイン部門及び「Goodpatch Anywhere」における営業リードの共有に加え、プロジェクト獲得やデザイナーリソースの連携を行ってまいりました。

当第2四半期連結会計期間においては、株式会社スタジオディテイルズ及びGoodpatch Anywhereを含むプロジェクト提供を行った顧客社数(注3)は61.0社（前年同期は54.3社、前年同期比12.3%増）、月額平均顧客単価(注4)は6,221千円（前年同期は5,598千円、前年同期比11.1%増）となりました。また、社内デザイン組織のデザイナー数は、当中間連結会計期間末において153名（前年同期比6.3%増）、「Goodpatch Anywhere」の所属デザイナー数は619名（前年同期比8.2%増、うち稼働デザイナー数は66名、前年同期比4.8%増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間におけるデザインパートナー事業の外部顧客への売上高は2,286,537千円（前年同期比19.6%増）、営業利益は354,246千円（前年同期比151.0%増）となりました。

(デザインパートナー事業のKPI推移)

	2024年8月期				2025年8月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	前年同期比
顧客社数 (社)	53.3	54.3	47.3	52.7	60.7	61.0	12.3%
月額平均顧客単価 (千円)	5,603	5,598	5,736	5,052	5,868	6,221	11.1%

② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。具体的には、自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービス「ReDesigner」やSaaS型のオンラインホワイトボードツール「Strap」で構成され、それぞれのシナジーを創出し、デザインに関連したビジネスの拡大を行うものとなります。

当第2四半期連結会計期間においては、「ReDesigner」は、ダイレトリクルーティング機能が登録者数および契約社数の増加に貢献しております。また、「Strap」においては、機能開発を進めるとともに、企業の研修ニーズを捉えた導入支援を経て、導入規模の拡大を図っております。

以上の結果、当中間連結会計期間におけるデザインプラットフォーム事業の外部顧客への売上高は182,418千円（前年同期比19.0%増）、営業損失は24,339千円（前年同期は65,274千円の営業損失）となりました。

(注) 1. デジタルトランスフォーメーション (DX) とは、Digital Transformationの略語で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを意味します。

2. UI (User Interface/ユーザーインターフェース) とは、「ユーザーがPCやスマートフォン等のデバイスとやり取りをする際の入力や表示方法などの仕組み」を意味します。また、UX (User Experience/ユーザーエクスペリエンス) は「サービスなどによって得られるユーザー体験」のことを意味します。

3. 顧客社数とは、デザインパートナー事業において、当社グループとデザインプロジェクトを進めるために契約した顧客企業の社数を指しており、1か月にデザイン支援を提供した顧客社数の当該期間の平均値を示しています。

4. 月額平均顧客単価とは、四半期ごとの売上高を顧客社数で除した数値の平均値を示しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて167,763千円増加し、4,007,058千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加66,714千円があったこと及び売掛金及び契約資産の増加109,662千円があったこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20,480千円減少し、816,227千円となりました。主な要因は、デザインパートナー投資の実行等による投資有価証券の増加57,171千円があった一方で、繰延税金資産の減少48,843千円があったこと及び償却によるのれんの減少30,451千円があったこと等によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて147,282千円増加し、4,823,285千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ110,018千円増加し、643,350千円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加75,086千円があったこと及び未払消費税等の増加46,082千円あったこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ67,389千円減少し、202,901千円となりました。主な要因は、借入金の返済による長期借入金の減少74,579千円があったこと等によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて42,629千円増加し、846,251千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて104,652千円増加し、3,977,033千円となりました。主な要因は、自己株式の取得による減少150,014千円があった一方で、親会社株主に帰属する中間純利益計上等に伴う利益剰余金の増加231,873千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ66,714千円増加し、3,341,860千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは329,241千円の収入(前年同期は39,812千円の支出)となりました。これは主に、デザインパートナー事業及びデザインプラットフォーム事業が相互にシナジーを創出することに注力しながら各事業を推進してきたことの成果としての税金等調整前中間純利益の計上344,381千円、株式会社スタジオディテイルズの買収に伴うのれん償却額32,375千円等の増加要因があったものの、売上債権及び契約資産の増加額109,662千円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは49,794千円の支出(前年同期は29,231千円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出48,000千円及び有形固定資産の取得による支出1,675千円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは212,592千円の支出(前年同期は84,395千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出85,561千円や自己株式の取得による支出151,331千円等の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期通期の業績予想については、2025年3月18日の「通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,145	3,341,860
売掛金及び契約資産	427,708	537,371
仕掛品	2,884	21,710
前払費用	79,830	96,613
未収還付法人税等	48,772	-
その他	4,953	9,502
流動資産合計	3,839,295	4,007,058
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,179	75,179
減価償却累計額	△37,019	△39,560
建物(純額)	38,160	35,619
工具、器具及び備品	81,552	74,290
減価償却累計額	△71,834	△65,084
工具、器具及び備品(純額)	9,717	9,206
リース資産	-	9,680
減価償却累計額	-	△460
リース資産(純額)	-	9,219
有形固定資産合計	47,877	54,044
無形固定資産		
商標権	1,493	1,370
のれん	412,538	382,086
顧客関連資産	53,444	49,333
無形固定資産合計	467,475	432,790
投資その他の資産		
投資有価証券	202,017	259,189
敷金及び保証金	22,827	22,496
繰延税金資産	74,017	25,173
その他	22,492	22,532
投資その他の資産合計	321,355	329,391
固定資産合計	836,708	816,227
資産合計	4,676,003	4,823,285

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,192	106,819
1年内返済予定の長期借入金	162,412	151,430
未払金	85,434	75,776
未払費用	40,766	31,371
未払法人税等	15,388	90,475
未払消費税等	34,684	80,767
契約負債	76,054	55,002
リース債務	-	1,335
賞与引当金	1,885	27,877
預り金	49,524	22,493
その他	3,989	-
流動負債合計	533,332	643,350
固定負債		
長期借入金	238,849	164,270
リース債務	-	8,880
資産除去債務	11,592	11,600
繰延税金負債	19,848	18,149
固定負債合計	270,290	202,901
負債合計	803,622	846,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,244	1,772,360
資本剰余金	1,767,244	1,767,360
利益剰余金	414,192	646,065
自己株式	△100,100	△250,114
株主資本合計	3,853,580	3,935,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	26
為替換算調整勘定	△3,069	△145
その他の包括利益累計額合計	△3,130	△118
新株予約権	21,930	22,370
非支配株主持分	-	19,110
純資産合計	3,872,380	3,977,033
負債純資産合計	4,676,003	4,823,285

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	2,065,082	2,468,955
売上原価	960,477	1,030,994
売上総利益	1,104,604	1,437,961
販売費及び一般管理費	1,028,729	1,108,055
営業利益	75,874	329,906
営業外収益		
受取利息	155	1,567
持分法による投資利益	8,272	12,756
為替差益	186	44
その他	1,867	2,780
営業外収益合計	10,481	17,147
営業外費用		
支払利息	430	1,209
株式交付費	93	0
新株予約権発行費	552	552
投資事業組合運用損	6,160	3,450
支払手数料	662	1,317
その他	19	169
営業外費用合計	7,919	6,698
経常利益	78,437	340,355
特別利益		
関係会社清算益	-	971
新株予約権戻入益	273	3,054
特別利益合計	273	4,026
税金等調整前中間純利益	78,710	344,381
法人税、住民税及び事業税	23,386	70,327
法人税等調整額	12,571	45,721
法人税等合計	35,958	116,048
中間純利益	42,752	228,332
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	-	△3,540
親会社株主に帰属する中間純利益	42,752	231,873

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	42,752	228,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,315	87
為替換算調整勘定	△23	2,923
その他の包括利益合計	2,291	3,011
中間包括利益	45,044	231,343
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	45,044	234,884
非支配株主に係る中間包括利益	-	△3,540

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	78,710	344,381
減価償却費	9,755	9,396
のれん償却額	31,733	32,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,728	25,992
受取利息	△155	△1,567
支払利息	430	1,209
株式交付費	93	0
持分法による投資損益(△は益)	△8,272	△12,756
関係会社清算益	-	△971
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	49,915	△109,662
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,118	△18,826
前払費用の増減額(△は増加)	△24,990	△16,803
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,018	43,626
未払金の増減額(△は減少)	△53,952	△9,432
未払費用の増減額(△は減少)	△29,589	△8,570
契約負債の増減額(△は減少)	△15,561	△21,051
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,097	46,106
その他	△44	△21,797
小計	21,804	281,648
利息及び配当金の受取額	15	1,427
利息の支払額	△488	△1,191
法人税等の支払額	△73,795	△2,681
法人税等の還付額	12,652	50,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,812	329,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,229	△1,675
敷金及び保証金の差入による支出	△297	△119
投資有価証券の取得による支出	△20,000	△48,000
投資事業組合からの分配による収入	1,294	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,231	△49,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	-
長期借入金の返済による支出	△62,948	△85,561
自己株式の取得による支出	△73,898	△151,331
非支配株主からの払込みによる収入	-	24,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,451	231
リース債務の返済による支出	-	△431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,395	△212,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	149	△140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△153,290	66,714
現金及び現金同等物の期首残高	3,273,786	3,275,145
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,120,496	3,341,860

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

株主資本の著しい変動

当社は、2024年1月12日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式127,900株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が73,236千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が73,346千円となっております。

当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

株主資本の著しい変動

当社は、2024年10月15日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式338,500株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が149,991千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が250,114千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,911,836	153,246	2,065,082	—	2,065,082
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,911,836	153,246	2,065,082	—	2,065,082
セグメント利益 又は損失(△)	141,149	△65,274	75,874	—	75,874

(注) セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間 連結損益 計算書 計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,286,537	182,418	2,468,955	—	2,468,955
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,286,537	182,418	2,468,955	—	2,468,955
セグメント利益 又は損失(△)	354,246	△24,339	329,906	—	329,906

(注) セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。